

SAMPLE

特集レポート No. 050

インバウンド需要の動向と各社の戦略

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

はじめに

- 近年、政府によるビザ発効要件緩和が行われたことを契機に訪日外国人観光客が爆発的な増加を見せ、2016年には年間2,000万人を突破
- それにともない、主に中国人観光客による“爆買い”と呼ばれる高級商品の大量購入といったインバウンド消費も爆発的に増加し、小売業を中心にその恩恵を受けることとなった
- しかし、最近では“爆買い”現象は落ち着き、訪日観光客の消費行動は“モノ消費”から“コト消費”へとシフトしつつあり、それに対応できた企業のみが勝ち続けることができる状況になってきている
- 本レポートでは、そうした訪日観光客の消費動向とそれに対応する小売企業の戦略、及び注目される“コト消費”の事例を紹介することで、インバウンド市場参入の戦略について考察をおこないたい

本資料の流れ



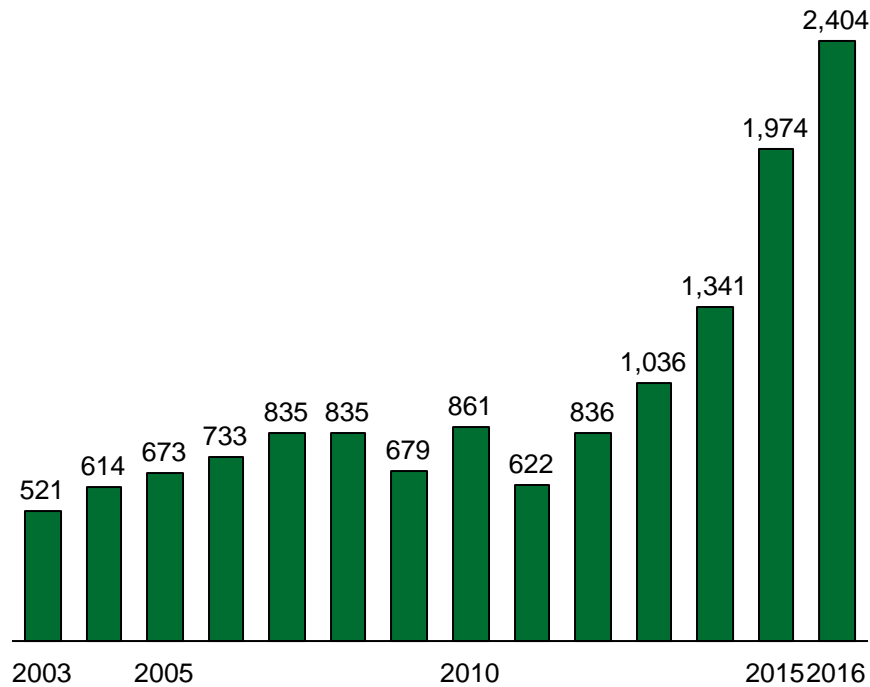
- I. インバウンド需要の動向
- II. 小売各社の戦略
- III. 今後の展望

訪日外客数の推移

- 訪日外客数は、2011年頃から爆発的な増加傾向となっている
- 中国人訪日客の割合は近年高まっており、2016年には3割弱を占めている

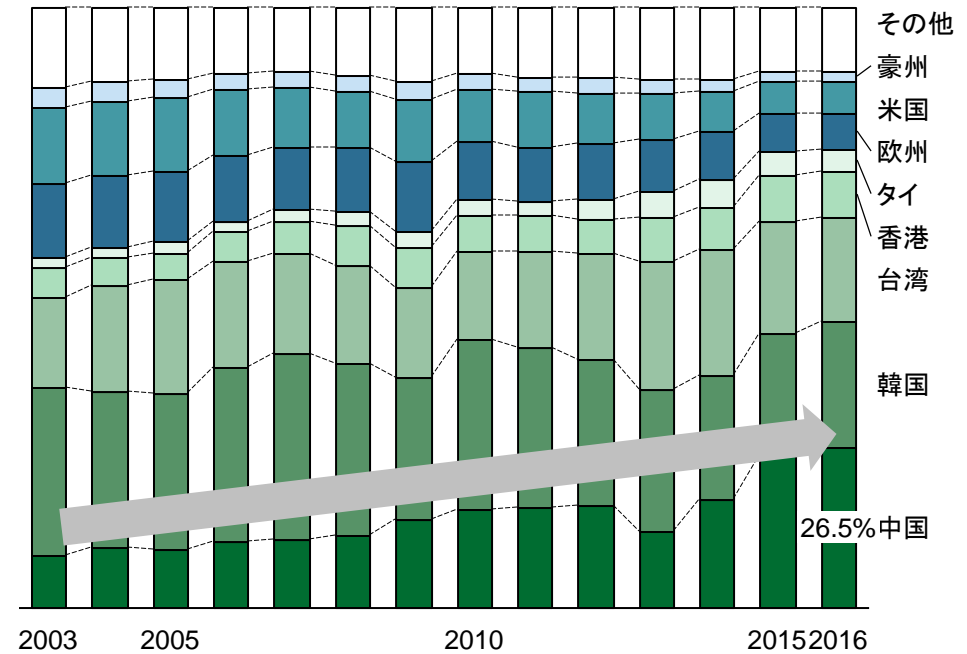
訪日外客数の推移

(単位:万人)



▲
訪日観光ビザの
要件緩和

国別の構成比

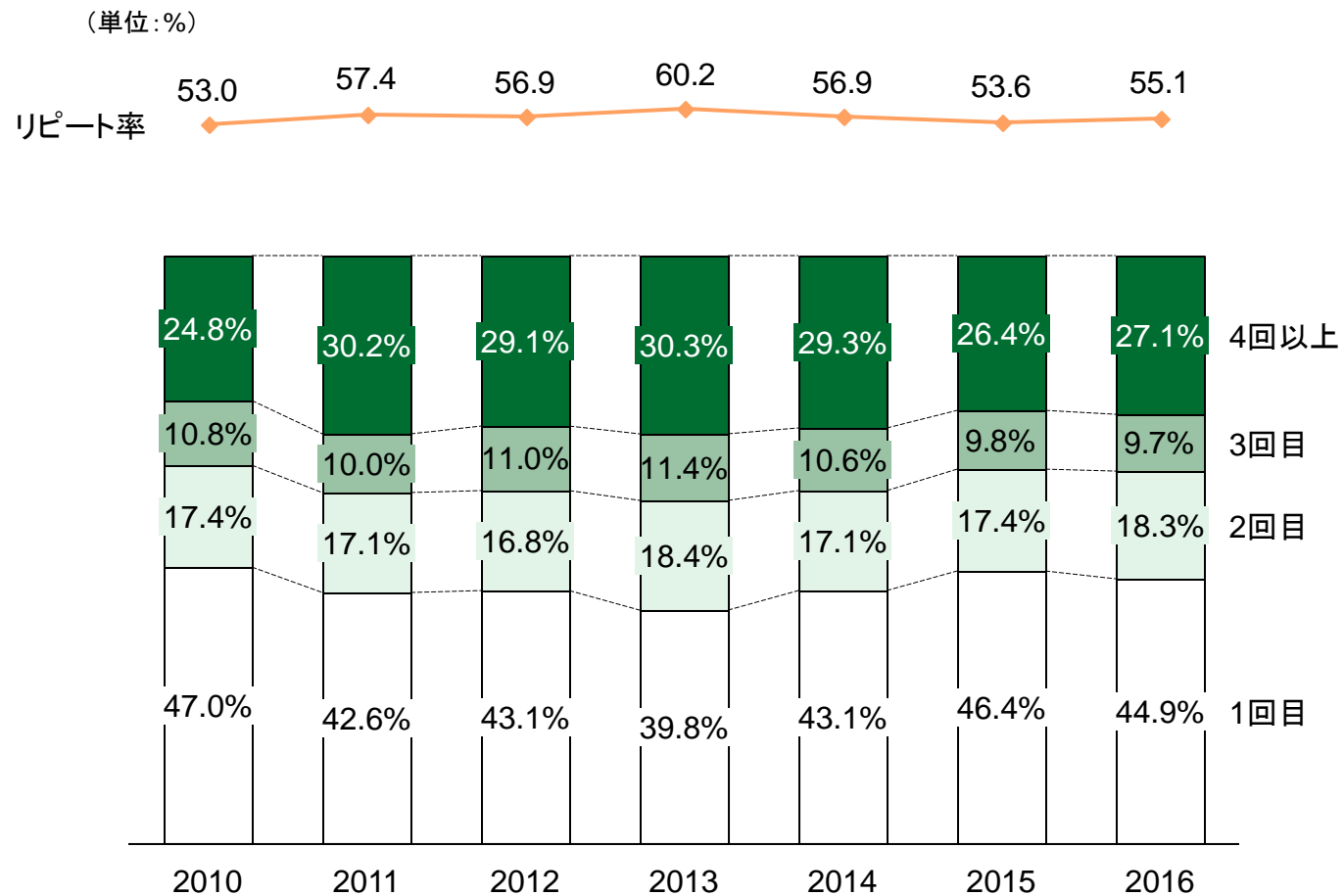


観光客の訪日回数

■ リピート率はほぼ一定の水準で推移

- 訪日観光客数自体の増加に伴い、新規・リピート客ともに増加していると言える

訪日観光客の訪日回数の推移及びリピート率

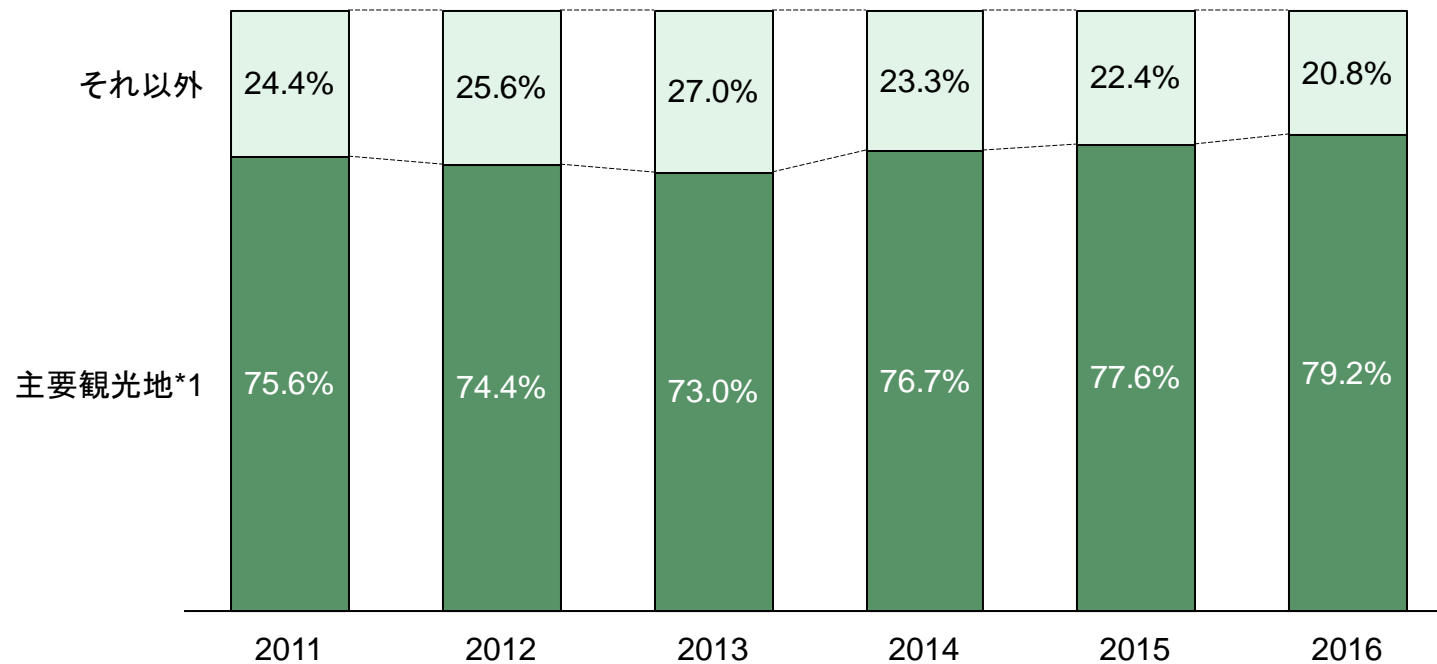


出所: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

訪日外国人観光客の訪問エリア変化

- 主要観光地を訪れる割合は増加傾向にあるが、それ以外の地域を訪れる人も一定数存在

エリア別の外国人観光客訪問数構成比



注: *1. 2016年において訪問率が8%以上の都道府県: 北海道、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、奈良県、福岡県、沖縄県

出所: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

